

II 住民基本台帳人口(日本人住民)による社会動態

1 概要

令和5年の社会動態は、市外からの転入が4万733人、市外への転出が3万8,762人で、1,971人の転入超過となりました。

これを地域別にみていくと、東京圏及びその他の地方(国外含む)に対して転出超過となっています。また、仙台都市圏内の他市町村、仙台都市圏以外の宮城県の市町、東北5県に対しては転入超過となっています。

この結果、区間移動と職権記載等の「その他増加数」を加えた社会増加数は2,438人となり、前年から増加しました。

(表2、図6、統計表第2表、統計表第3表)

表2 転入数、転出数、社会増加数の推移—全市(平成26年～令和5年)

(単位:人)										
地 域	平成26	27	28	29	30	令和元年	2	3	4	5
転 入 数	44,802	44,837	43,089	43,126	43,263	42,134	41,992	41,242	41,452	40,733
宮城県	11,087	11,309	10,554	10,965	11,002	10,750	10,795	10,236	9,973	9,969
仙台都市圏内の他市町村	5,456	5,756	5,397	5,701	5,705	5,630	5,685	5,298	5,235	5,196
" 以外の市町	5,631	5,553	5,157	5,264	5,297	5,120	5,110	4,938	4,738	4,773
東北5県	13,044	13,231	12,826	12,996	13,360	12,808	12,670	12,729	13,048	12,885
東京圏	10,797	10,551	10,486	10,179	9,833	9,691	9,644	9,855	9,593	9,364
その他の地方(国外含む)	9,874	9,746	9,223	8,986	9,068	8,885	8,883	8,422	8,838	8,515
転 出 数	43,044	43,846	42,545	41,838	41,225	41,267	38,648	38,477	38,348	38,762
宮城県	10,682	10,689	10,119	9,660	9,225	8,877	8,725	8,709	8,551	8,506
仙台都市圏内の他市町村	6,672	6,668	6,120	5,711	5,543	5,529	5,316	5,241	5,313	5,187
" 以外の市町	4,010	4,021	3,999	3,949	3,682	3,348	3,409	3,468	3,238	3,319
東北5県	9,395	9,627	9,053	8,937	8,747	8,850	8,737	8,548	8,249	7,970
東京圏	13,279	13,890	13,868	13,854	13,802	14,215	12,823	12,737	12,727	13,401
その他の地方(国外含む)	9,688	9,640	9,505	9,387	9,451	9,325	8,363	8,483	8,821	8,885
社会増加数	1,758	991	544	1,288	2,038	867	3,344	2,765	3,104	1,971
宮城県	405	620	435	1,305	1,777	1,873	2,070	1,527	1,422	1,463
仙台都市圏内の他市町村	△ 1,216	△ 912	△ 723	△ 10	162	101	369	57	△ 78	9
" 以外の市町	1,621	1,532	1,158	1,315	1,615	1,772	1,701	1,470	1,500	1,454
東北5県	3,649	3,604	3,773	4,059	4,613	3,958	3,933	4,181	4,799	4,915
東京圏	△ 2,482	△ 3,339	△ 3,382	△ 3,675	△ 3,969	△ 4,524	△ 3,179	△ 2,882	△ 3,134	△ 4,037
その他の地方(国外含む)	186	106	△ 282	△ 401	△ 383	△ 440	520	△ 61	17	△ 370
※参考										
その他増加数	516	334	339	487	193	458	583	409	385	467
" を含む社会増加数	2,274	1,325	883	1,775	2,231	1,325	3,927	3,174	3,489	2,438

(△は転出超過数)

※「その他増加数」には職権記載・消除、国籍取得・喪失等のほかに、市内区間移動増減数が含まれている。

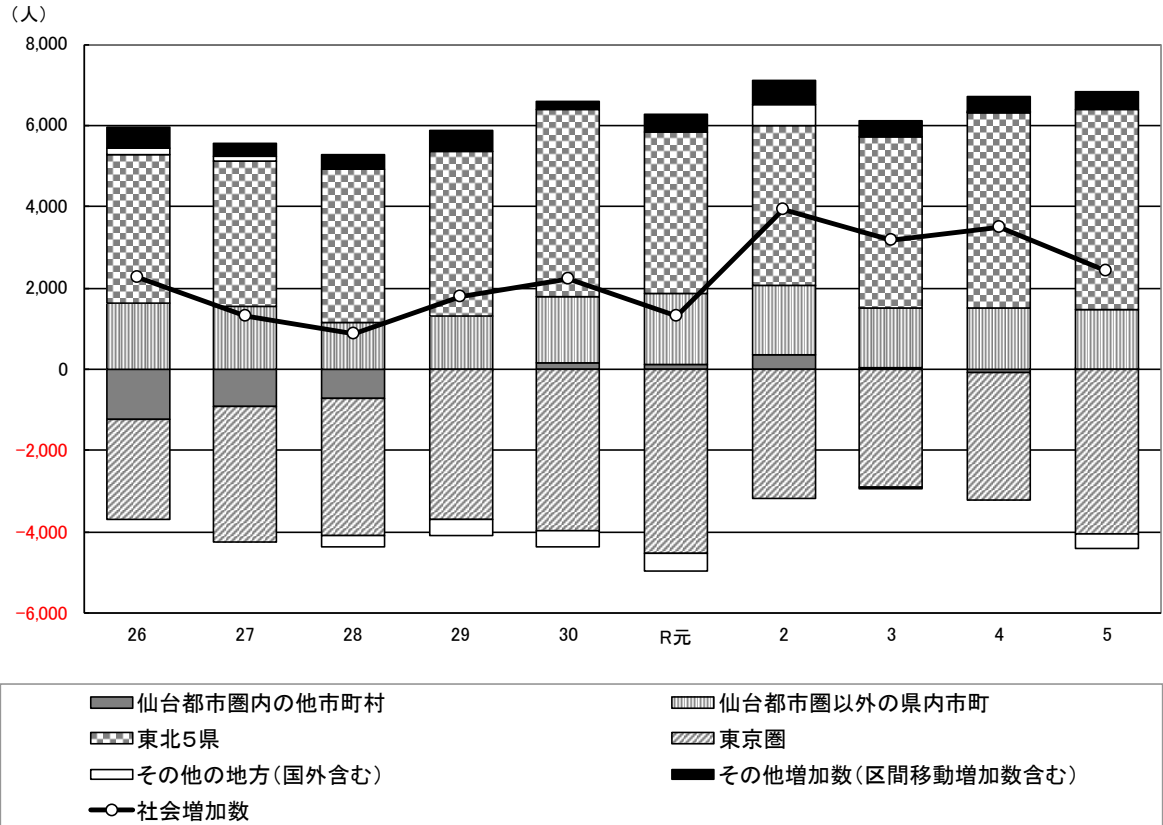


図6 地域別社会増加数（転入数－転出数）（平成26年～令和5年）

※地域別内訳の詳細については、図7～11を参照ください。

2 東京圏に対する人口移動

東京圏に対する人口移動は、転入数が9,364人、転出数が1万3,401人で、4,037人の転出超過となり、転出数が転入数を大きく上回る状況が続いています。

（表2、図6、図7、統計表第2表）

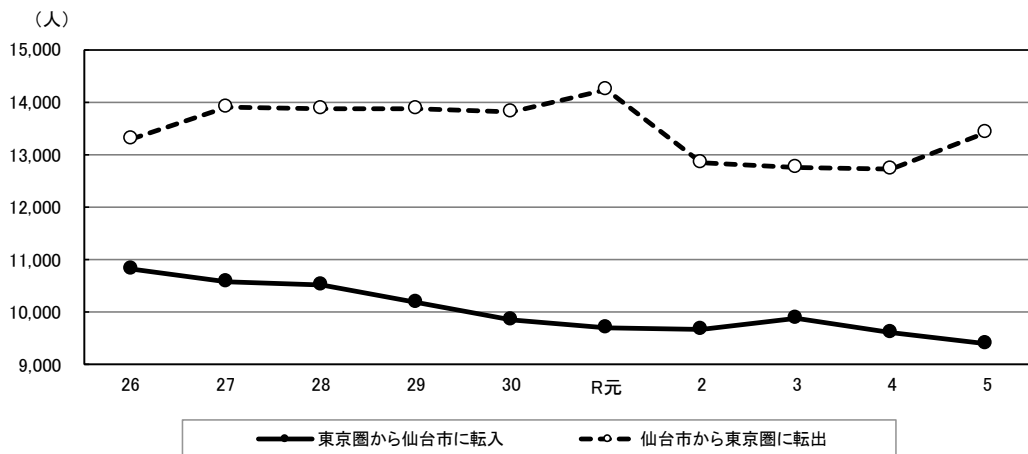


図7 東京圏との転出入数（平成26年～令和5年）

3 東北5県及びその他の地方（国外含む）に対する人口移動

東北5県に対する人口移動は、転入数が1万2,885人、転出数が7,970人で、4,915人の転入超過となりました。

(表2、図6、図8、統計表第2表)

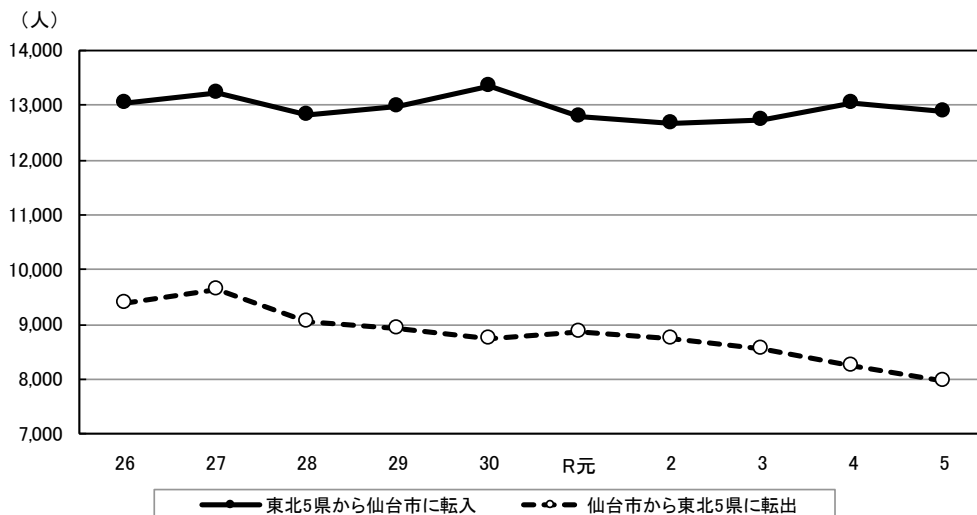


図8 東北5県との転出入数 (平成26年～令和5年)

その他の地方（国外含む）に対する人口移動は、転入数が8,515人、転出数が8,885人で、370人の転出超過となりました。

(表2、図6、図9、統計表第2表)

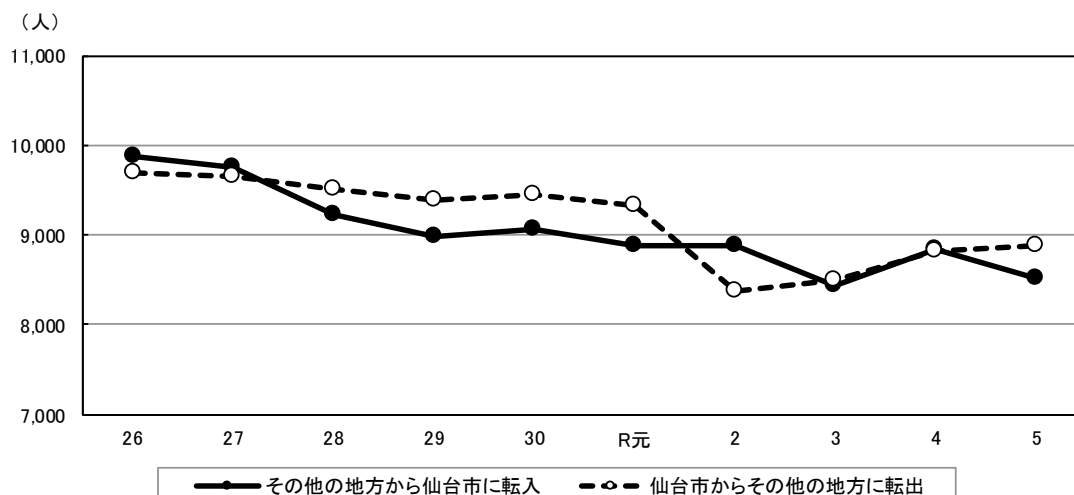


図9 その他の地方との転出入数 (平成26年～令和5年)

4 県内他市町村に対する人口移動

仙台都市圏内の他市町村に対する人口移動は、転入数が5,196人、転出数が5,187人で、9人の転入超過となりました。市町村別の内訳をみると、転入超過が7市町村、転出超過が5市町、転入転出同数が1市となっています。

(表2、図6、図10、統計表第3表)

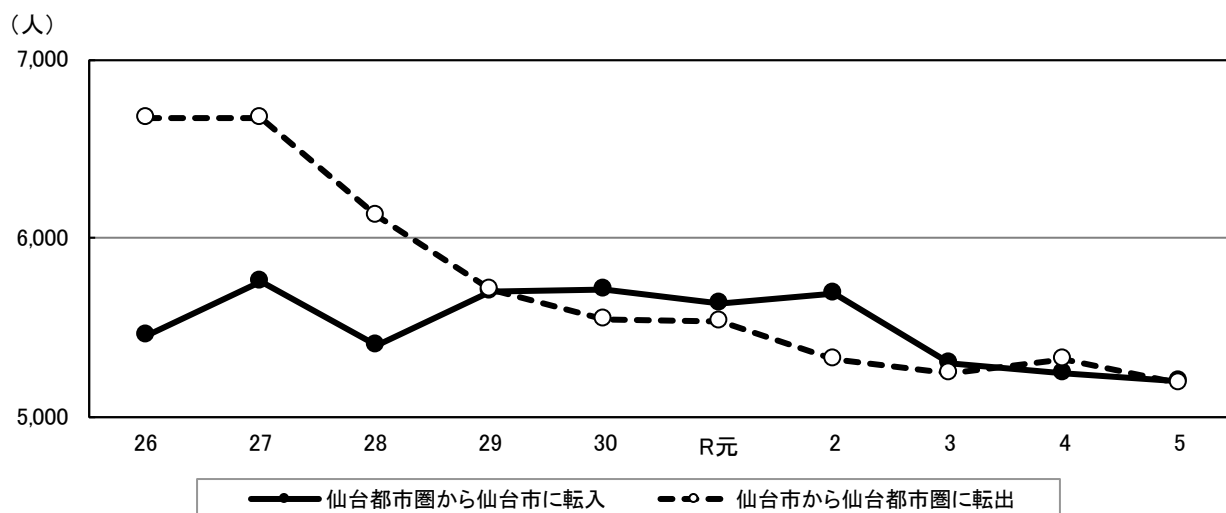


図10 仙台都市圏との転出入数 (平成26年～令和5年)

仙台都市圏以外の県内市町村に対する人口移動は、転入数が4,773人、転出数が3,319人で、1,454人の転入超過となりました。

(表2、図6、図11、統計表第3表)

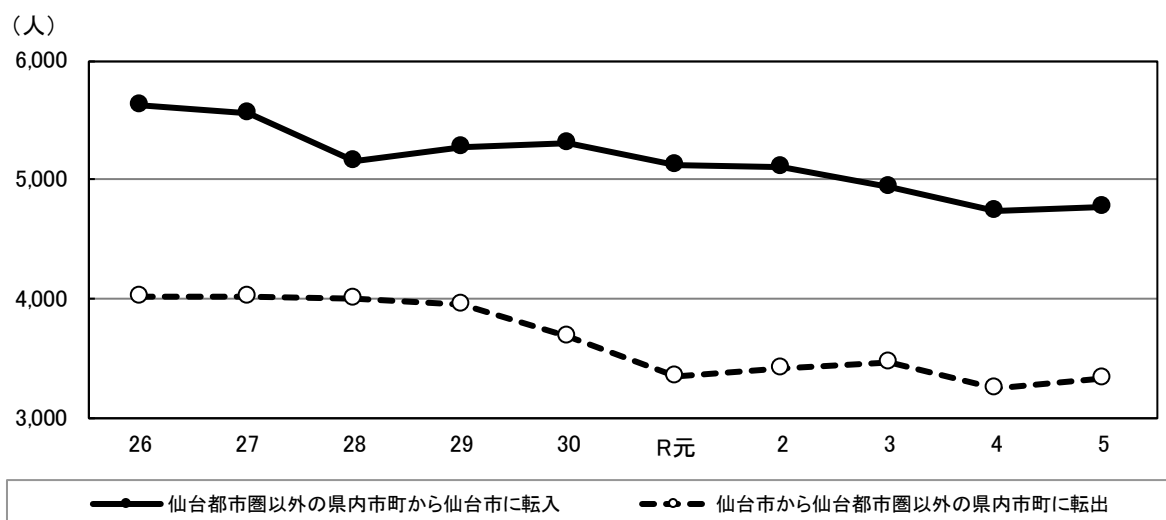


図11 仙台都市圏以外の県内市町村との転出入数 (平成26年～令和5年)

5 区別の社会動態

令和5年の区別社会動態は、青葉区、若林区、太白区で社会増となり、宮城野区、泉区で社会減となりました。その内訳について、次のような点が特徴として挙げられます。

- ① 市内他区に対しては、宮城野区、泉区で転出超過。他3区は転入超過。
- ② 県内市町村に対しては、全区で転入超過。
- ③ 東北5県に対しては、全区で転入超過。
- ④ 東京圏に対しては、全区で転出超過。
- ⑤ その他の地方に対しては、青葉区、若林区で転入超過、他3区は転出超過。

(表3、図12、統計表第4表)

表3 社会増加数の地域別内訳－区（平成30年～令和5年）

(単位：人)

区、年次	社会 増加数	市内 他区	宮城県	仙台		東北 5県	東京圏	その他の 地方 (国外含む)	その他 増加数
				都市圏	都市圏外				
青葉区									
平成30年	568	△ 324	742	192	550	1,728	△ 1,528	△ 29	△ 21
令和元	△ 45	△ 581	701	267	434	1,441	△ 1,609	△ 135	138
2	1,458	184	631	157	474	1,322	△ 1,149	240	230
3	1,669	△ 24	560	145	415	1,624	△ 861	216	154
4	2,426	402	723	220	503	1,973	△ 1,027	228	127
5	1,743	192	695	282	413	1,966	△ 1,289	50	129
宮城野区									
平成30年	△ 82	△ 314	245	△ 71	316	678	△ 627	△ 120	56
令和元	△ 263	△ 196	154	△ 230	384	633	△ 751	△ 201	98
2	63	△ 723	255	△ 107	362	728	△ 362	136	29
3	△ 29	△ 619	62	△ 194	256	797	△ 412	49	94
4	△ 783	△ 895	14	△ 244	258	713	△ 630	△ 91	106
5	△ 763	△ 780	57	△ 237	294	690	△ 694	△ 106	70
若林区									
平成30年	867	575	192	70	122	514	△ 391	△ 87	64
令和元	370	150	213	△ 11	224	496	△ 508	△ 54	73
2	940	373	292	44	248	535	△ 372	△ 5	117
3	294	10	151	△ 44	195	510	△ 317	△ 85	25
4	678	385	123	△ 58	181	522	△ 325	△ 27	0
5	847	413	195	45	150	614	△ 460	19	66
太白区									
平成30年	1,703	538	374	13	361	1,195	△ 481	33	44
令和元	1,725	934	505	138	367	896	△ 764	82	72
2	1,565	650	498	135	363	875	△ 700	137	105
3	1,570	868	518	118	400	779	△ 629	△ 66	100
4	1,402	370	457	85	372	1,063	△ 509	△ 54	75
5	1,136	571	312	△ 31	343	1,123	△ 857	△ 129	116
泉区									
平成30年	△ 825	△ 465	224	△ 42	266	498	△ 942	△ 180	40
令和元	△ 462	△ 298	300	△ 63	363	492	△ 892	△ 132	68
2	△ 99	△ 464	394	140	254	473	△ 596	12	82
3	△ 330	△ 226	236	32	204	471	△ 663	△ 175	27
4	△ 234	△ 255	105	△ 81	186	528	△ 643	△ 39	70
5	△ 525	△ 385	204	△ 50	254	522	△ 737	△ 204	75

※「その他増加数」には職権記載・消除、国籍取得・喪失等が含まれている。

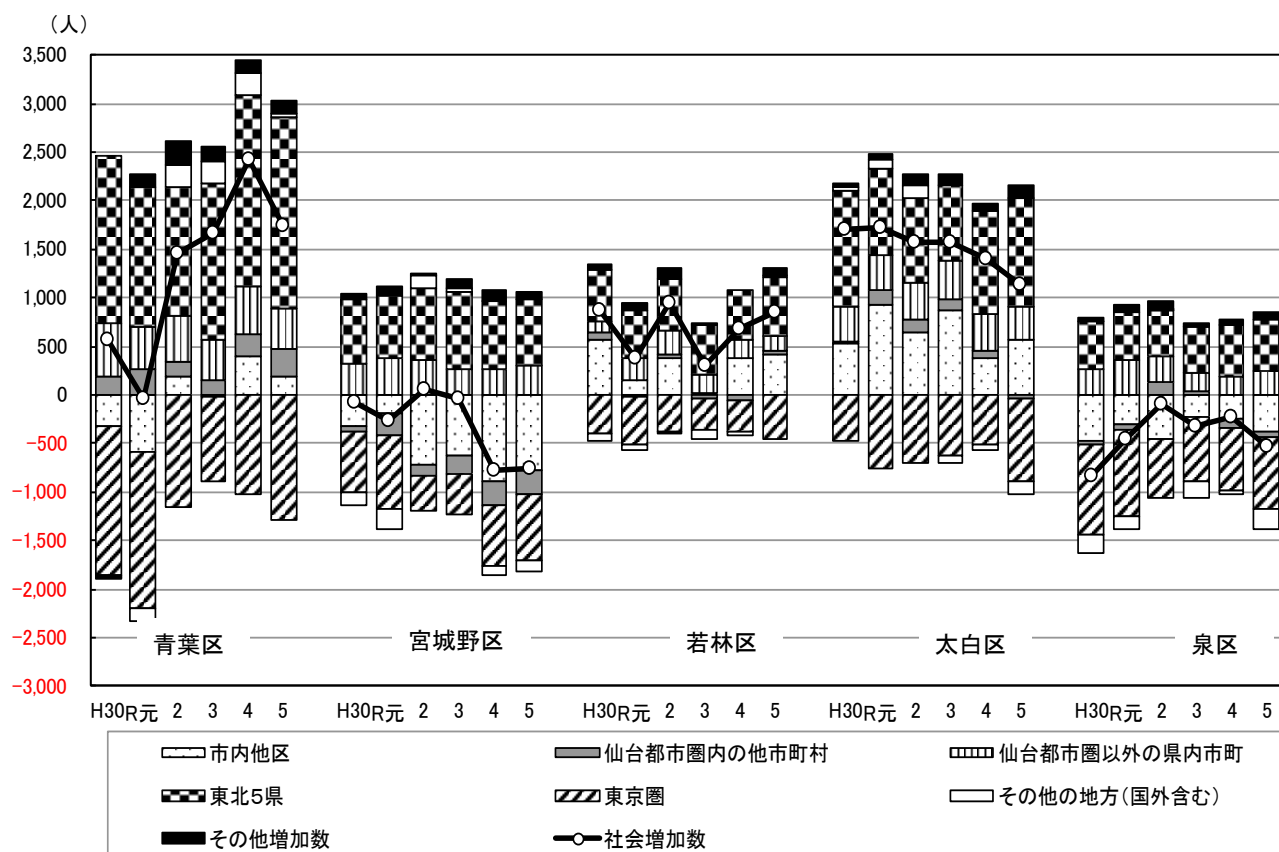


図 1 2 地域別社会増加数（転入数－転出数）－ 区 （平成 30 年～令和 5 年）

転入・転出の差し引きによる、区別の対市内各区社会増減をみると

- ・青葉区は宮城野区、泉区に対して転入超過で、全体では 192 人の転入超過となっています。
 - ・宮城野区はすべての区に対して転出超過で、全体で 780 人の転出超過となっています。
 - ・若林区は太白区を除く 3 区に対して転入超過で、全体では 413 人の転入超過となっています。
 - ・太白区はすべての区に対して転入超過で、全体では 571 人の転入超過となっています。
 - ・泉区は宮城野区を除く 3 区に対して転出超過で、全体では 385 人の転出超過となっています。
- また、相互間の移動数に最も差があるのは宮城野区・若林区間の移動で、若林区は 343 人（=1,176 人－833 人）の転入超過となっています。

（表 3、統計表第 4 表）

転入ベースで区間相互における人口移動をみると、最も人口移動が多いのは、青葉・泉区間で3,072人(=1,417人+1,655人)となっています。逆に最も人口移動が少ないのは、若林・泉区間で773人(=329人+444人)となっています。

(図13)

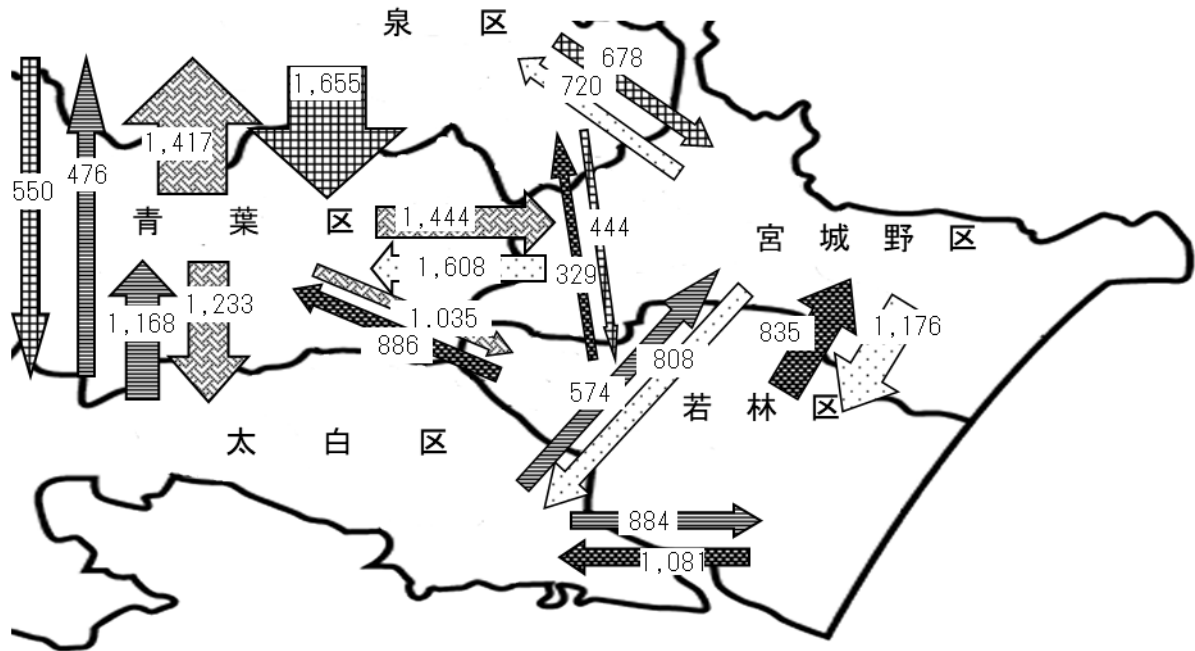


図13 区間人口移動 (令和5年 転入ベース)

6 年齢（5歳階級）別の人口移動

年齢（5歳階級）別の人口移動をみると、転入数・転出数とも最も多い年齢は20～24歳で、転入数9,086人、転出数8,345人でした。

（図14、統計表第5表）

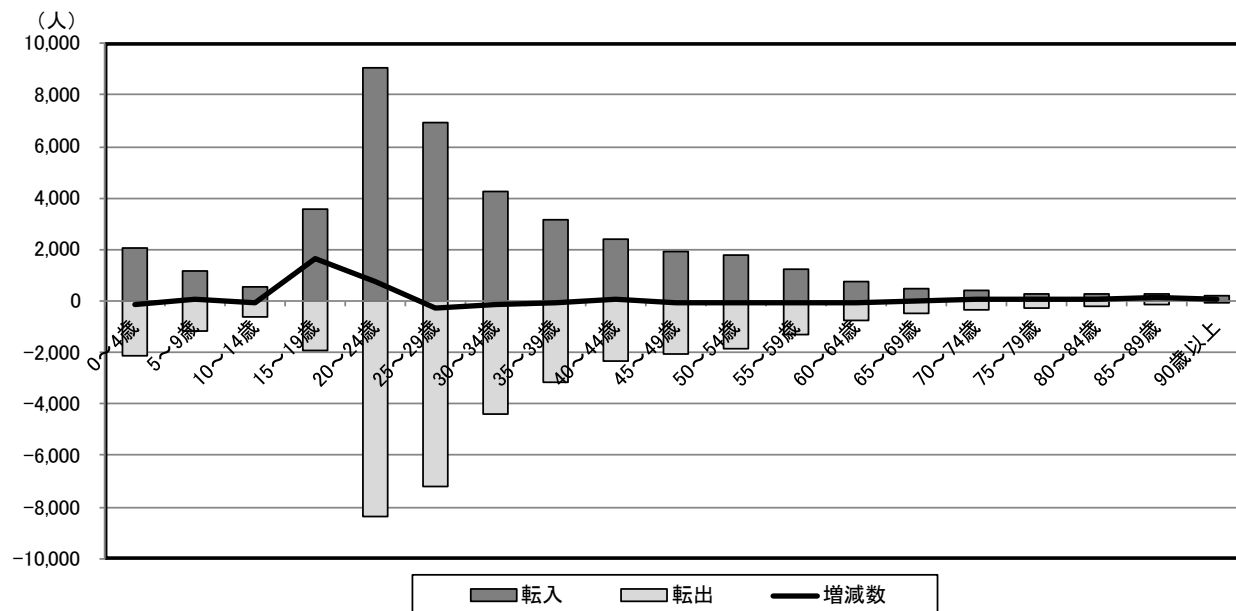


図14 年齢（5歳階級）別転出入数（令和5年）

20～24歳における転出入数を地域別にみると、転入割合が最も大きいのは東北5県からの転入（40.7%）で、次いで、宮城県内の各市町村からの転入（24.1%）となっています。また、転出割合が最も大きいのは東京圏への転出（41.8%）で、次いで、東北5県への転出（24.2%）となっています。

（図15、統計表第5表）

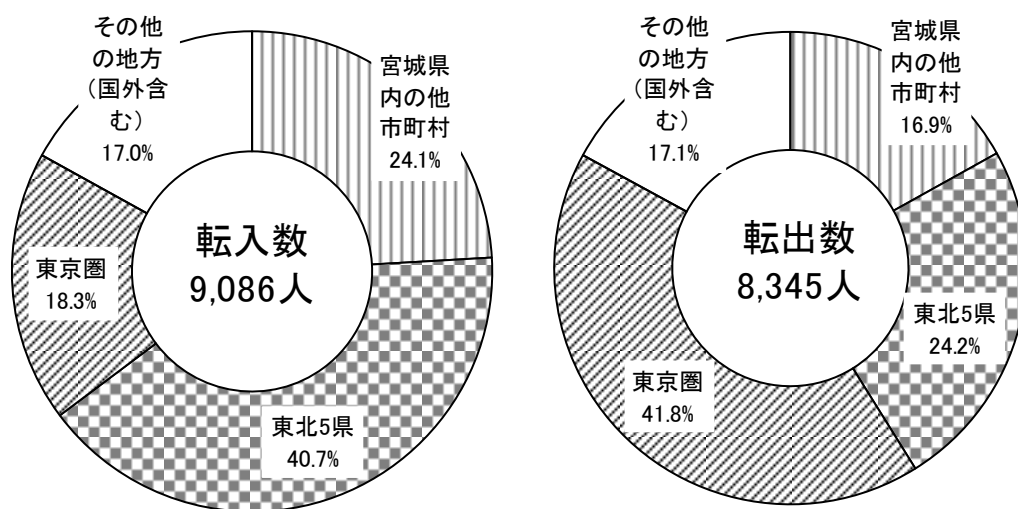


図15 転出入数の地域別割合－20～24歳（令和5年）

令和元年以降の年齢（5歳階級）別の人口移動の推移をみると、転入超過数については、5年連続で15～19歳が最も多く、令和5年は1,634人（3,575人－1,941人）でした。転出超過数については、令和元年～4年は0～4歳が最も多いが、令和5年は25～29歳が最も多く、276人（6,907人－7,183人）でした。

（図16、統計表第5表）

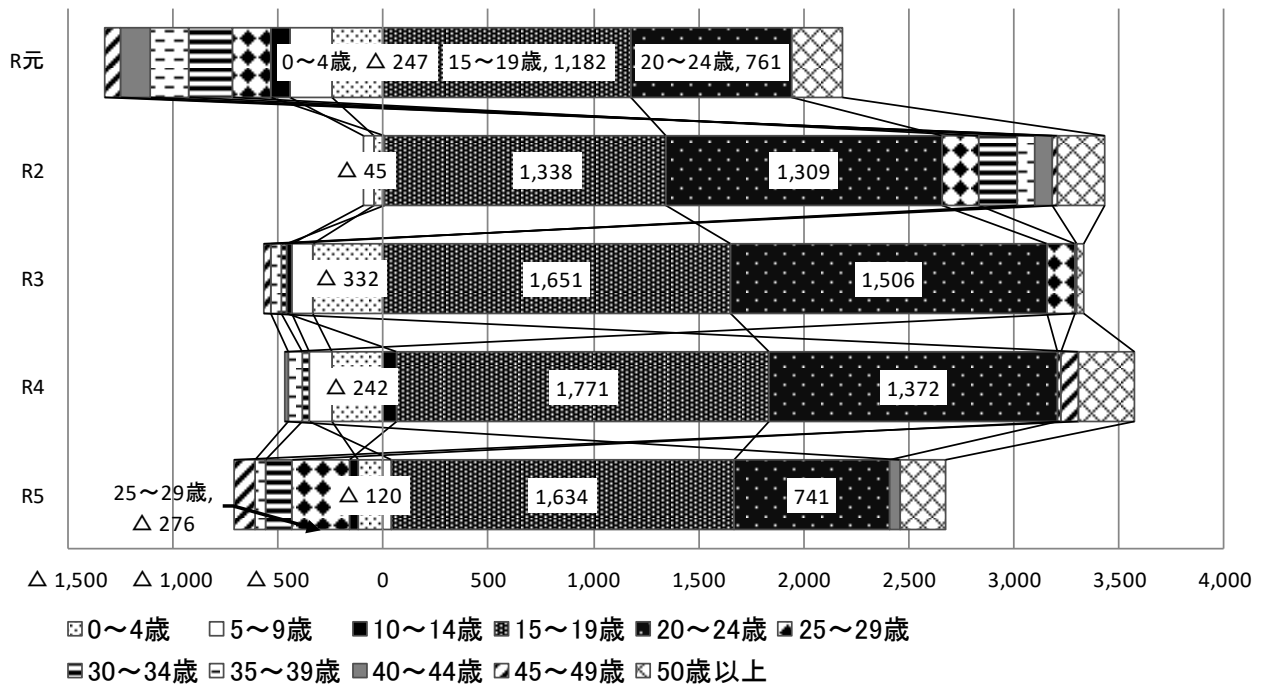


図16 年齢（5歳階級）別の人口移動の推移（令和元年～令和5年）

15～19歳における転入数を地域別割合でみると、最も大きいのは東北5県からの転入（52.8%）で、次いで、宮城県内の他市町村からの転入（21.7%）となっています。

また、25～29歳における転出数を地域別割合でみると、最も大きいのは東京圏への転出（37.5%）で、次いで、宮城県内の他市町村への転出（23.1%）となっています。

（図17、統計表第5表）

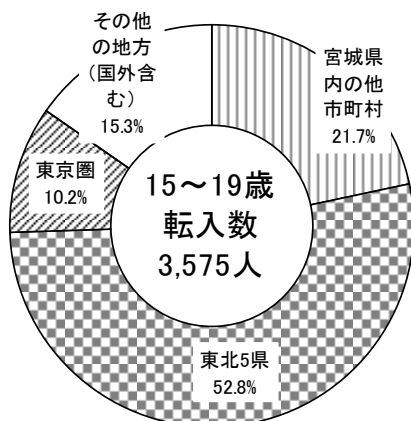


図17-1 転入数の地域別割合
—15～19歳（令和5年）

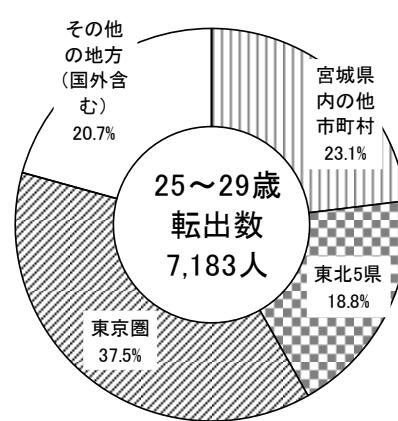


図17-2 転出数の地域別割合
—25～29歳（令和5年）